

海域	経過 (4～5月)	現況(6月上旬～ 6月中旬)	見通し (7月～8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月～5月は平年並みで経過した。	・定地水温は平年並み。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面でやや高め、50m層、100m層で平年並み。水塊深度はかなり深め、東方への張り出しは平年並み(太平洋海洋観測結果)。 ・6月の対馬暖流の各層水温は表面でやや高め、50m層及び100m層で平年並み(日本海海洋観測結果)。	・津軽暖流域の水温は平年並み～やや高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月は表層で高めと予測されているが、50m層以深では平年並み～やや高めと予測されている。 ・津軽暖流の張り出しは平年並みの傾向がみられる。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】 (4/8,9,13) 《表面水温》 10海里以内は6～7℃台で、黒埼、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、椿島定線で「やや低い」～「平年並」。 20～50海里内は、6～10℃台で、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼及び尾埼定線で「やや低い」～「平年並」、椿島定線で「やや低い」～「やや高い」。 《100m深水温》 10海里以内は6～7℃台で、全ての定点で「平年並」。 20～50海里は4～8℃台で、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、椿島定線で「やや低い」～「やや高い」。 【5月】 (4/27,29,30) 《表面水温》 10海里以内は7～8℃台で、黒埼定線で「やや低い」～「平年並」、トドヶ埼及び椿島定線で「やや低い」、尾埼定線で「低い」～「やや低い」。 20～50海里は7～9℃台で、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「平年並」、尾埼及び椿島定線で「やや低い」。 《100m深水温》 10海里以内は6～8℃台で、黒埼、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、椿島定線で「やや低い」。 20～50海里は6～8℃台で、黒埼及びトドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼及び椿島定線で「平年並」。	【6月】 (6/1,2) 《表面水温》 10海里以内は、12～14℃台で、黒埼、トドヶ埼及び尾埼定線で「平年並」、椿島定線で「やや低い」～「平年並」。 20～30海里は14～19℃台で、黒埼及び尾埼定線で「高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「高い」、椿島定線で「平年並」～「やや高い」。 《100m深水温》 10海里以内は8～10℃台で、黒埼、尾埼及び椿島定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」。 20～30海里は6～9℃台で、黒埼及びトドヶ埼定線で「やや高い」、尾埼及び椿島定線で「平年並」。	【7月中旬】 0海里定点の10m深水温は、椿島定線で「平年並」、その他の定線で「やや低い」と予測された。 100m深水温は、全ての定線の5～30海里定点で「平年並」と予測された。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。	マイワシ、サバ類など定置網における水揚げの不振。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	【4月】 表面水温は仙台湾内では平年より2℃程度高くなっていますが、外洋は平年並みの8～9℃台でした。 100m深水温は、ほぼ平年並みの6～7℃台でした。 【5月】 表面水温は仙台湾内で1～2℃平年より高く13～15℃台、外洋では南東側が平年より1～2℃低くなっていましたが、ほぼ平年並みの9～12℃台でした。 100m深水温は、ほぼ平年並みの6～7℃台でした。	表面水温は仙台湾内で平年より1～2℃高く14～20℃台でした。外洋ではほぼ平年並みの15～17℃台でした。 100m深水温は、ほぼ平年並みの8～10℃でした。	表面水温は気温の上昇とともに上昇し平年値を上回るものと思われる。とくに仙台湾内は気温の影響を強く受け、平年値を大きく上回ることが予想される。 100m深水温については、徐々に上昇するが、親潮系水の波及を受け平年並みと予想される。	気象庁の季節予報で気温が高い確率が60%と高いこと、FRA-ROMS IIの予測により水深100m付近では東北太平洋沿岸に冷水の波及が見られること。	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水海セ発表)	【4月】 《100m深水温》 南部沿岸は「高い」 ※南部沿岸の観測は距離30海里以内の定点のみ(通常は50海里)。北部および中部沿岸は欠測 【5月】 北部沿岸は「やや低い」 中部沿岸は「やや低い」 南部沿岸は「平年並」 ※北部:37° 50'N 中部:37° 25'N 南部:37° 00'N	【6月】 《100m深水温》 北部沿岸は「平年並」 中部沿岸は「やや低い」 南部沿岸は「平年並」	【7月】 「平年並」～「やや高め」 【8月】 「平年並」	FRA-ROMS IIの予測によると、7、8月に本県沿岸への親潮第一分岐および親潮系冷水、黒潮系暖水の顕著な波及はなく、平年並みに推移すると予想される。ただし、7月に本県南部沿岸に黒潮続流の波及が見込まれるため、南部はやや高め基調になる可能性がある。 また、気象庁の「海面水温・海流1か月予報」(令和8年6月10日発表、対象期間6月11日～7月10日)によると、本州東方	なし。

				の海面水温は「 平年並みか平年より高い 」とされている。	
常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸；茨城水試発表)	【4月】 黒潮統流からの暖水波及の影響で、全域で「 やや高め～高め 」となった。 5月：黒潮統流からの暖水波及が続き、0～100m深で「 やや高め～極めて高め 」となった。200m以深の底層では冷水の影響を受け、一部で「 やや低め 」となった。	黒潮統流からの暖水波及が継続しているものの、底層において北から冷水が差し込んだことで、会瀬沖で「 やや低め～平年並 」、他で「 平年並～高め 」となった。	黒潮統流からの暖水波及と底層冷水の影響が続くことで、0m深では「 平年並～やや高め 」、100m以深では「 やや低め～平年並 」となる見込み。	海洋観測結果、気象庁「海洋の健康診断表」、FRA-ROMS IIによる。	

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+7.2℃～	+3.8℃～	+6.2℃～	+5.8℃～		+6.3℃～
高い(7.5%)	+4.7～+7.1℃	+2.5～+3.7℃	+4.0～+6.1℃	+3.8～+5.7℃		+4.1～+6.2℃
やや高い(20%)	+1.9～+4.6℃	+1.0～+2.4℃	+1.6～+3.9℃	+1.5～+3.7℃		+1.7～+4℃
平年並(40%)	+1.8～-1.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃		+1.6～-1.6℃
やや低い(20%)	-1.9～-4.6℃	-1.0-2.4℃	-1.6～-3.9℃	-1.5～-3.7℃		-1.7～-4℃
低い(7.5%)	-4.7～-7.1℃	-2.5～-3.7℃	-4.0～-6.1℃	-3.8～-5.7℃		-4.1～-6.2℃
極めて低い(2.5%)	-7.2℃～	-3.8℃～	-6.2℃～	-5.8℃～		-6.3℃～

1996年1月～2025年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している